

## 令和4年度 第1回脊振町地域懇談会 会議録

日時：令和5年1月20日（金）16時00分～

場所：脊振交流センター 3階 大会議室

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員紹介
5. 神崎市地域懇談会について

### 6. 報告

(1) 神崎市役所旧本庁舎跡地の利活用について  
前回の議題「神崎市役所旧庁舎跡地利活用のアンケート結果」について、その後の事業経過を担当課から報告。(資料説明省略)

委員：櫛田宮から要望等はないのか。

事務局（建設副課長）：現在のところないが、必要に応じて協議したいと考えている。

### 7 議題

(1) 神崎市総合計画後期基本計画の策定について

事務局（企画係長）：資料説明（省略）

委員：概要資料中に企業誘致とあるが、誘致の際は土地を売却しているのか、それとも貸し付けているのか。

事務局（企画係長）：土地開発公社が用地を取得し、造成した後、進出企業へ売却している。

委員：言葉の内容が分からないものがある（グリーントランスフォーメーション、デジタルトランスフォーメーション、スマート農業）。脊振はこのままだと人口が減る一方である。例えばテレワークであれば、住む場所を問わず仕事ができる。脊振にテレワークで移住者を呼び込むなどの検討はあるのか。

事務局（企画係長）：グリーントランスフォーメーションとは、世界的にエネルギーの転換期に来ている中、クリーンエネルギーを活用し経済社会システムを変革させる取組みである。

デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術を日常生活へ浸透させより良いものへと変革させる取組みである。

また、スマート農業については、農作業にロボットやAIを活用した取組みである。今後、言葉の説明が必要なものについては、説明書きをするよう対応したい。テレワークについては、現時点で具体的な取組みは決まっていない。

委員：脊振から神埼まで幹線道路が新たにできないかと思っている。まちづくりは道路基盤の整備からであり、それが暮らしやすさに結び付くと考える。企業誘致にしても、幹線道路ができれば脊振町内に企業が進出しやすくなる。

事務局（企画課長）：委員のご意見については素案の61ページに掲げおり、インフラの整備については重要なものと市でも理解している。

委員：先ほどのインフラの整備の意見はダム建設事業にも関連してくる。今後整備される道路は、残る脊振町民が一番利用すると考えるため、脊振の住民の声を反映させてほしい。

委員：神埼町から千代田町の間には、国、県市道はいくつもあるが、脊振町から神埼町の間では少ない。災害時現在の道路が塞がれば孤立する可能性があるため、せめてもう1本道路を作ってほしい。

委員：基本理念と基本施策という言葉の違いは。

事務局（企画係長）：基本理念は総合計画における重点的課題を示したものであり、基本施策は基本理念の方向性を示す施策を記載したもの。

委員：数値目標の表現はもう少しわかりやすい表現にしてはどうか。

事務局（企画係長）：担当部署と協議して表現を考えたい。

8. その他

9. 閉会